

PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

【2010年5月31日版】

サーバ監視ソフト ServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agentsについて

サーバ監視ソフトServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agentsでは以下のような機能があります。

(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003)

項目	ServerView/ServerView Operations Manager & ServerView Agents
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール(一部未サポートモデルあり) パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など)
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス(監視対象サーバ上、管理サーバ上) ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	○
使用メモリ	16~32MB

※サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログインしていないと表示されません。
ログインしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。
また、イベントログにて発生を確認することができます。

(Red Hat Enterprise Linux/VMware)

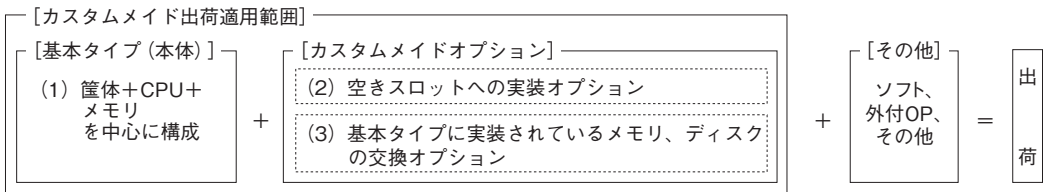
項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 * Web Extension/ ServerView S2使用による	サーバ状態監視 電源投入/切断 スケジュール運転設定 * モデルによる パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など) ※しきい値マネージャは使用できません。
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	○	—
使用メモリ	32MB以上	16~32MB

*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ／ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。
カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。
それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

- (1) 基本タイプ(本体)
TX100 S1/TX120 S2/TX150 S7/TX200 S5/TX300 S6/RX100 S6/RX200 S6/RX300 S6/RX600 S5/BX620 S5/BX920 S2/BX922 S2の全タイプが対象となります。(TX300FT S5/TX300HA S5/オールインワンタイプを除く。)
- (2) カスタムメイドオプション:空きスロットへの実装オプション
PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注:FMVとの共通製品等を除く)。

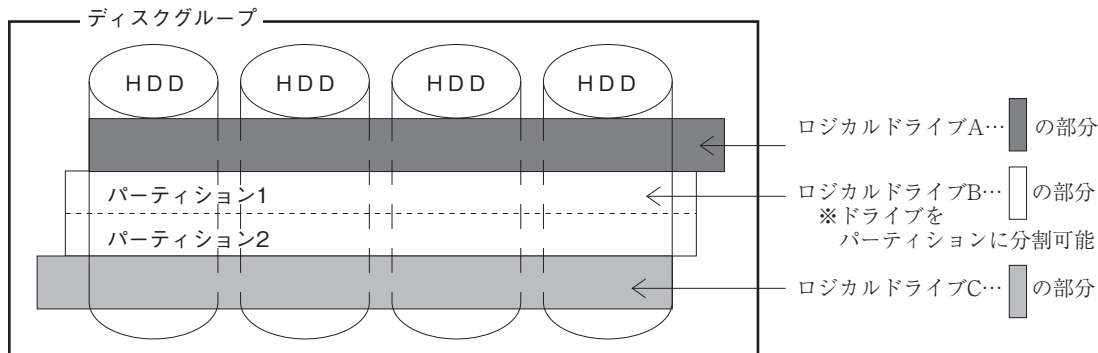
2. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

ディスクレスタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先の内蔵HDD/SSD以外のオプション装置(内蔵HDD/SSD、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意ください。

内蔵ストレージ関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

- ・ ディスクグループ・・・・・・1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・ ロジカルドライブ・・・・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・ パーティション・・・・・・OSで設定するロジカルドライブを分割したアクセス論理単位。



<構成規則について>

- (1) ディスクグループは、必ず同じ型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (2) ブートロジカルドライブのサイズは、2TB未満に設定してください。
ロジカルドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルバックを構成する内蔵ストレージの台数は、以下のとおりです。

・ RAID0	(性能向上のために、データを複数ドライブへ分割して書込む方式)	—— 1～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の総和]
・ RAID1	(信頼性向上のために、ドライブを二重化し同一データを書込む方式)	—— 2台	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・ RAID1E	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	—— 4～32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・ RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	—— 4～32台 (偶数台のみ構成可能)	[ロジカルドライブの実効データ容量は接続したドライブ容量の1/2]
・ RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)	—— 3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分]
・ RAID5+0	(信頼性向上のために、RAID5のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む)	—— 6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-1)台分の1/2]
・ RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書込む方式)	—— 3～32台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分]
・ RAID6+0	(信頼性向上のために、RAID6のデータを分割(RAID0)し複数ドライブに書き込む)	—— 6～256台	[ロジカルドライブの実効データ容量は(接続したドライブ台数-2)台分の1/2]

- (4) 1つのディスクグループを複数のロジカルドライブに分割した場合の各ロジカルドライブのRAIDレベルは、同じもののしか設定できません
- (5) アレイコントローラの種類によっては、1つのアレイコントローラで複数のディスクグループを設定することが可能です。
但し、内蔵ストレージは以下の条件を満たす必要があります。
・ ディスクグループは同型名の内蔵ストレージで構成してください。
・ 複数のディスクグループを同容量の内蔵ストレージで構成する場合は、すべて同型名の内蔵ストレージで構成してください。
- (6) 1つのアレイコントローラで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。
但し、以下の条件を満たす必要があります。
・ 同一ディスクグループ内のロジカルドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。
・ 1つのディスクグループ内には複数のロジカルドライブが作成できます。(最大8個)
- (7) ホットスワップディスクはディスクグループ中に接続されている同型名の内蔵ストレージで設定してください。
異なる内蔵ストレージを使用した複数のディスクグループが存在する場合は、各々のディスクグループに対して、同型名のホットスワップを最低1台設定する必要があります。

ハードディスクキャビネット／SASアレイコントローラカード／SCSIカード／SASカードの注意事項

- ハードディスクキャビネットについて
OSは必ずサーバ本体に内蔵ハードディスクにインストールする必要があります。
- SASアレイコントローラカード[TX300 S6/RX200 S6(2.5インチx8モデル)/RX300 S6/RX600 S5標準搭載]について
 - ①ハードディスクベイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/のみサポート)
- オンボードSASコントローラ[BX920 S2/BX620 S5標準搭載]について
 - ①オンボードSASコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体に内蔵ハードディスクのみです。
 - ②オンボードSASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。
 - ③オンボードSASコントローラで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- オンボードSATAコントローラ[BX922 S2/TX100 S1/TX150 S7(3.5インチモデル)/TX200 S5(SATAモデル)/RX100 S6(3.5インチモデル)/RX200 S6(2.5インチx6モデル(SATA))標準搭載]について
 - ①オンボードSATAコントローラに接続可能なハードディスクは内蔵ハードディスクのみです。
 - ②オンボードSATAコントローラでRAIDを構成する場合は、RAID1を2セットまで構成可能です。
(BX922 S2/TX100 S1/TX150 S7(3.5インチモデル)/TX200 S5(SATAモデル)/RX100 S6(3.5インチモデル)はRAID1+0を1セットも構成可能です。)
- SASコントローラカード[TX120 S2/TX150 S7(2.5インチモデル)/TX200 S5(3.5インチSASモデル)/RX100 S6(2.5インチモデル)/RX200 S6(2.5インチx6モデル(SAS))標準搭載/PG-254BC/PG-254B]
 - ①接続可能なハードディスクは、サーバ本体に内蔵ハードディスク4台までです。
 - ②RAIDを構成する場合は、ハードディスク2台までです。
 - ③SASコントローラカードで作成できるロジカルドライブは1つのみです。
- SASアレイコントローラカード[PG-248L1/PG-248LC/PG-248L/PG-248L5/PG-248B3/PG-248BC1/PG-248B5/PG-248C6/PG-248C8/PG-248J1/PG-248JC/PG-248JC1/PG-248J/PG-248J3/PG-248J5/PG-248JL/PG-248H1/PG-248HC/PG-248H/PG-248H3/PG-248H5/PG-248HL]について
 - ①ハードディスクベイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PG-248K/PG-248KL/PG-248K3/PG-248N3/PG-248NL]について
 - ①ETERNUS JX40接続用のカードです。
 - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
 - ③1枚のカードでETERNUS JX40を2台まで接続可能です。
- SASアレイコントローラカード[PG-248G3L/PG-248G3/PG-248G5]について
 - ①PRIMERGY SX35接続用のカードです。
 - ②RAID0/1において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
 - ③1枚のカードでPRIMERGY SX35を2台まで接続可能です。
- SASアレイコントローラカード[PG-248FL/PG-248GL/PGB248J2]
 - ①PRIMERGY SX650/SX940 ストレージブレード接続用カードです。
 - ②RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- SASアレイコントローラカード[PGB248L2/PGB248H2/PGB248M]について
 - ①RAID0/1/5/6において、ディスクグループにロジカルドライブが1つだけ存在する場合のみディスクグループの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008 R2/Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003においてパーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)
- 消耗品の扱いについて
以下のアレイコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。
寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。
※本寿命は温度環境が25℃の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。
※RAS支援サービスによる事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード		
	型名	寿命
SASアレイコントローラカード	PG-248J / PG-248J1 / PG-248J3 / PG-248J5 / PG-248JC / PG-248JC1 PG-248JL / PG-248G3L / PG-248G5 / PG-248GL / PG-248C6 PG-248C8 / PG-248K3	約3年
	PGB248J / PGB248J1 / PGB248J2 / PGB248J5 / PGB248JC PGB248G3L / PGB248G5 / PGB248GL / PGB248C6 PGB248C7 / PGB248C8 / PGB248K3	
	PGB2U48J / PGB2U48J1 / PGB2U48J3 / PGB2U48J4 / PGB2U48J5 PGB2U48JL / PGB2U48C2L / PGB2U48C3 / PGB2U48C8 / PGB2U48C9	
バッテリーバックアップユニット (SASアレイコントローラカード) [PRIMERGY SX940 S1 ストレージブレード用オプション]	PGBBBU6	



交換用バッテリー	
品名	型名
バッテリーバックアップユニット	PG-BBU5

システム構成図留意事項

- SCSIカード[PG-2281/PG-2281L/PG-2283/PG-2283L]について
 - ①本カード1枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。
- SASカード[PG-228B/PG-228BL/PG-224B]について
 - ①本カード1枚に外付SAS装置と内蔵SAS装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。

接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット	型名	TX100 S1	TX120 S2	TX150 S7	TX200 S5	TX300 S6	RX100 S6	RX200 S6	RX300 S6	RX600 S5	BX620 S5	BX920 S2	BX922 S2
PRIMERGY SX35 (3.5インチ SAS)	PG-R2DC2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
ETERNUS JX40 (2.5インチ SAS)	PG-R3DC1	-	-	6(*1)	-	6(*1)	6(*1)	6(*1)	6(*1)	12(*1)	-	-	-

*1)カスケード接続により、一組み最大3台のETERNUS JX40と接続可能

メモリ関連事項

OSにおける最大CPU数/使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意願います。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポート OSは機種により異なります。)

OS	最大CPU数 (*1)	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit)	(~8)	2TB
Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)	(~64)	2TB
Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)	(~4)	32GB
Windows Server® 2008 R2 Foundation	(~1)	8GB (*3)
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	(~4)	4GB (*2) (*4)
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	(~8)	64GB
Windows® Web Server 2008 (32-bit)	(~4)	4GB
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	(~8)	2TB
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	(~8)	2TB
Windows® Web Server 2008 (64-bit)	(~4)	32GB
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	(~4)	4GB (*2) (*4)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	(~8)	64GB (*5)
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	(~4)	32GB (*4)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	(~8)	1TB / 2TB (*6)
Windows Server® 2003, Standard Edition	(~4)	4GB
Windows Server® 2003, Enterprise Edition (SP1以降)	(~8)	64GB (*5)
Windows Server 2003, Web Edition	(~2)	2GB
Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	(~4)	32GB
Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	(~8)	1TB / 2TB (*6)
Windows® Small Business Server 2008 Standard	(~4)	32GB
Windows® Small Business Server 2008 Premium	(~4)	32GB
Windows® Small Business Server 2003 R2, Standard Edition	(~2)	4GB
Windows® Small Business Server 2003 Standard Edition	(~2)	4GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	~16 (~2)	12GB (*7)
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	~24	12GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	~24	12GB (*7)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	~16 (~2)	16GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	~24	192GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	~64	256GB
VMware® Infrastructure 3 Version 3.5	32	144GB
VMware vSphere™ 4	64	512GB (*8)

(*1) ハイパースレッディング・テクノロジー機能による論理CPU、デュアルコアCPU、クワッドコアCPU、6コアCPU/8コアCPUのCPUコアをCPUの数としてカウントします。
()内は物理CPU数です。

(*2) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)/ Windows Server® 2003 R2, Standard Editionがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは4GBまでです。

(*3) Windows Server® 2008 R2 Foundationがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリ容量は8GBまでです。

(*4) インストールされているOSがなく、Windows Server® 2008 R2 Standard/Windows Server® 2008 Standard/ Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは32GBまでです。

(*5) PRIMERGY RX600 S4においては、62GBまでのサポートとなります。

(*6) SP2適用時は、2TBまで使用可能です。

(*7) Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)/ Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)がインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは12GBまでです。

(*8) 256GBを超える物理メモリを使用する場合は、Enterprise Plusエディションが必要です。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

<Windows 関連>

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit), Enterprise (64-bit), Datacenter (64-bit)/ Windows® Web Server 2008 R2/ Windows Server® 2008 R2 Foundation			Windows Server® 2008 Standard, Enterprise, Datacenter (64-bit)/			備考
					Windows Server Backup	CA ARCserve® Backup r12.5	CA ARCserve® Backup r12	NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12.5	CA ARCserve® Backup r12	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1024 PG-RD1026 PG-RD1027 PG-RD102D2	RDX	40 500	16	x	○	x	x	○	○	・メンテナンスフリー
	PG-LT203 PGBLT203 PGBLT203C	LTO2 (Ultrium2)	200	24	x	○	x	x	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に 適している
	PG-LT302 PGBLT302C1	LTO3 (Ultrium3)	400	64	x	○	x	x	○	○	
	PG-LT303 PGBLT303C		60	60	x	○	x	○ (*1)	○	○	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	x	○	x	x	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に 適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20JLD1				x	○	x	x	○	○	
LTO 装置	LT20JSD1	LTO3 (7.74H) 7.77 7.7	3200	60	x	○	x	x	○	○	
	LT40JSD1		9600		x	○	x	x	○	○	
	LT20JLF1				x	○	x	x	○	○	
	LT20JSF1	LTO4 (7.74H) 7.77 7.7	6400	60	x	○	x	x	○	○	
	LT20JFF1				x	○	x	x	○	○	
	LT40JFF1		19200	80	x	○	x	x	○	○	
	LT60JSE1	LTO4 (7.74H) 7.77 7.7	38400	120	x	○	x	x	○	○	
	LT60JFF1				x	○	x	x	○	○	
DAT 装置	PG-DT501				x	○	x	x	○	○	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504 PG-DT5041 PG-DT5043 PG-DT5045 PG-DT5046 PG-DT5048 PG-DT5049 PG-DT504D2	DAT72	36	3.0	x	○ (*1)	x	x	○ (*1)	○ (*1)	
	PG-DT601 PG-DT602	DAT160	80	6.9	x	○ (*1)	x	x	○ (*1)	○ (*1)	

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2003/2003 R2 Standard Edition, Enterprise Edition, Standard x64 Edition, Enterprise x64 Edition/ Windows Storage Server			Windows® Small Business Server 2008 Standard Windows® Small Business Server 2008 Premium		Windows® Small Business Server 2003 Standard Edition Windows® Small Business Server 2003 R2 Standard Edition		備考
					NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12.5	CA ARCserve® Backup r12	Windows Server Backup	CA ARCserve® Backup r12/ r12.5	NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12/ r12.5	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1024 PG-RD1026 PG-RD1027 PG-RD102D2	RDX	40 500	16	○	○	○	x	x	○	x	・メンテナンスフリー
	PG-LT203 PGBLT203 PGBLT203C	LTO2 (Ultrium2)	200	24	○ (*1)	○	○	x	x	○ (*1)	x	・高信頼性が必要な基幹業務に 適している
	PG-LT302 PGBLT302C1	LTO3 (Ultrium3)	400	64	○ (*1)	○	○	x	x	○ (*1)	x	
	PG-LT303 PGBLT303C		60	60	○ (*1)	○	○	x	x	○ (*1)	x	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	○ (*1)	○	○	x	x	○ (*1)	x	・高信頼性が必要な基幹業務に 適している ・自動バックアップ処理可能
LTO 装置	LT20JLD1				x	○	○	x	x	x	x	
	LT20JSD1	LTO3 (7.74H) 7.77 7.7	3200	60	x	○	○	x	x	x	x	
	LT40JSD1		9600		x	○	○	x	x	x	x	
	LT20JLF1				x	○	○	x	x	x	x	
	LT20JSF1	LTO4 (7.74H) 7.77 7.7	6400	60	x	○	○	x	x	x	x	
	LT20JFF1				x	○	○	x	x	x	x	
	LT40JFF1		19200	80	x	○	○	x	x	x	x	
	LT60JSE1	LTO4 (7.74H) 7.77 7.7	38400	120	x	○	○	x	x	x	x	
	LT60JFF1				x	○	○	x	x	x	x	
DAT 装置	PG-DT501				○ (*1)	○	○	x	x	○ (*1)	x	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504 PG-DT5041 PG-DT5043 PG-DT5045 PG-DT5046 PG-DT5048 PG-DT5049 PG-DT504D2	DAT72	36	3.0	○ (*1)	○ (*1)	○ (*1)	x	x	x	x	
	PG-DT601 PG-DT602	DAT160	80	6.9	○ (*1)	○ (*1)	○ (*1)	x	x	x	x	

※記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

※NTBACKUPでバックアップした場合は、各装置の処理速度よりも遅くなる場合があります。処理性能を重視される場合にはARCserveの使用をお勧めします。

※Windows Server® 2008 R2への対応は、CA ARCserve Backup r12.5 for Windows-Japaneseに対応パッチを適用する必要があります。

※Windows Server® 2008 R2 FoundationはPRIMERGY TX100 S1/TX150 S7/RX100 S6に接続可能なバックアップ装置のみサポート可能です。

※ETERNUS製品の詳細につきましては、インターネット情報ページ URL: <http://storage-system.fujitsu.com/jp/>にてご確認ください。

※Windows Server® 2008のServer Core環境ではサポートです。

※Windows Server® 2008のHyper-V機能を使用する場合、CA ARCserve Backup r12 for Windows-Japanese L10以降を使用する必要があります。

※Windows Server® 2008のHyper-V機能を使用する場合、CA ARCserve Backup r12 for Windows-Japanese L10以降を使用する必要があります。

*1) Server Start CD, ServerView Installation Manager, またはPRIMERGYスタートアップディスク内のデバイスドライバを使用することを示します。

システム構成図留意事項

<Linux 関連>

					Red Hat Enterprise Linux						備考
バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	5 (for x86)		AS (v.4 for x86)		ES (v.4 for x86)		
					NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1024 PG-RD1026 PG-RD1027 PG-RD102D2	RDX	40 1 500	16	x	x	x	x	x	x	・メンテナンスフリー ・tarなどのコマンドを使用
	PG-LT203 PGBLT203 PGBLT203C	LTO2 (Ultrium2)	200	24	○	○	○	○	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT302 PGBLT302C1	LTO3 (Ultrium3)	400	64	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT303 PGBLT303C		60	○	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	○	x	○	x	○	x	
LTO 装置	LT20JLD1				○	x	○	x	○	x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20JSD1	LTO3 (n-7H4T) 3/7" 2U	3200	60	○	x	○	x	○	x	
	LT40JSD1		9600	○	x	○	x	○	x		
	LT20JLF1				○	x	○	x	○	x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20JSF1	LTO4 (n-7H4T) 3/7" 2U	6400	60	○	x	○	x	○	x	
	LT20JFF1				○	x	○	x	○	x	
	LT40JFF1		19200	80	○	x	○	x	○	x	
	LT60JSE1	LTO4 (7H4T) 3/7" 2U	38400	120	○	x	○	x	○	x	
	LT60JFF1				○	x	○	x	○	x	
	DAT 装置	PG-DT501 PG-DT504 PG-DT504B PG-DT504D2 PG-DT5049				○	○	○	○	○	○
PG-DT5041		DAT72	36	3.0	○	○	○	○	○	x	
PG-DT5043 PG-DT5045					○	○	○	x	○	○	
PG-DT5046					○	x	x	x	x	x	
PG-DT601 PG-DT602		DAT160	80	6.9	○	○	○	x	○	○	

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Red Hat Enterprise Linux						備考
					5 (for Intel64)		AS (v.4 for EM64T)		ES (v.4 for EM64T)		
					NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022 PG-RD1024 PG-RD1026 PG-RD1027 PG-RD102D2	RDX	40 1 500	16	x	x	x	x	x	x	・メンテナンスフリー ・tarなどのコマンドを使用
	PG-LT203 PGBLT203 PGBLT203C	LTO2 (Ultrium2)	200	24	○	○	○	○	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT302 PGBLT302C1	LTO3 (Ultrium3)	400	64	○	○	○	○	○	○	
	PG-LT303 PGBLT303C		60	○	○	○	○	○	○		
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	○	x	○	x	○	x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
LT20JLD1			○	x	○	x	○	x			
LT20JSD1	LTO3 (n-7H4T) 7/7" 2U	3200	60	○	x	○	x	○	x		
LT40JSD1		9600		○	x	○	x	○	x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能	
LT20JLF1			○	x	○	x	○	x			
LT20JSF1	LTO4 (n-7H4T) 7/7" 2U	6400	60	○	x	○	x	○	x		
LT20JFF1			○	x	○	x	○	x			
LT40JFF1		19200	80	○	x	○	x	○	x		
LT60JSE1	LTO4 (7H4T) 7/7" 2U	38400	120	○	x	○	x	○	x		
LT60JFF1			○	x	○	x	○	x			
DAT 装置	PG-DT501 PG-DT504 PG-DT504B PG-DT504D2 PG-DT5049				○	○	○	○	○	○	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT5041	DAT72	36	3.0	○	○	○	○	○	○	
	PG-DT5043 PG-DT5045			○	○	○	○	○	x		
	PG-DT5046			○	x	x	x	x	x		
	PG-DT601 PG-DT602	DAT160	80	6.9	○	○	○	○	○	x	

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

・Windows Server® 2008/2008 R2およびWindows Server® 2003 R2のライセンスにはダウングレード権があります。
旧バージョンのWindows Server OSを購入されたお客様は、ライセンス製品の購入時にSoftware Assuranceも併せて購入した場合、契約有効期間内であれば最新バージョンのWindows Server OSを使用する権利があります。
・Windows Server OSをダウングレードする場合は、同一エディション間でのみダウングレード可能となります。
例えば、Windows Server® 2008 StandardをWindows Server® 2003 R2へダウングレードする場合は、Windows Server 2003® R2, Standard Editionへダウングレード可能です。(Windows Server® 2003, Standard Edition/Windows Server® 2000へも可能)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition等Enterprise Editionへダウングレードすることはできません。
・ダウングレード権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアを所有している必要があります。
(その際は、ボリュームライセンス用のメディアとボリュームライセンスキーか、パッケージ用のメディアとプロダクトキーをご使用ください。
なお、他のPRIMERGYに添付されているメディアを使用し、再インストールする際にプロダクトキーは必要ありません。)
・Windows Server® 2008/2008R2は下位エディションを使用する権利を持ちます。(Datacenter>Enterprise>Standard)
例えば、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008/2008 R2 Standard、Windows Server® 2003/2003 R2, Standard Edition、Windows Server 2003/2003 R2, Standard x64 Editionを使用することが可能です。

Windows Server® 2008 R2プレインストールバンドルタイプのOSについて

※Windows Server® 2008 R2 Standardのライセンスを使用して、Windows Server® 2008 R2 Standardのほか、Windows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。

また、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのライセンスを使用して、Windows Server® 2008 R2 Enterpriseのほか、Windows Server® 2008 Enterprise(32-bit)、Windows Server® 2003 R2,Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise(64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。(下位エディションも使用可能)

※Windows Server® 2008 R2は64bit版のみとなります。

Windows Server® 2008 プレインストールバンドルタイプのOSについて

※Windows Server® 2008 Standardのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。

また、Windows Server® 2008 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Enterprise(32-bit)、Windows Server® 2003 R2,Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise(64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。(下位エディションも使用可能)

※Windows Server® 2008のライセンスを利用して、Windows Server® 2008 R2は使用できません。

※Windows Server® 2008は、標準で32bit版、64bit版メディアが2枚同梱されております。

Windows Server® 2008/2008 R2、Windows Server® 2003 R2 x64 EditionのOSインストールについて

※ODDドライブを搭載していないサーバをご使用の場合は、Windows Server® 2008/2008 R2、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 EditionのOSをインストールするために、別途DVDドライブを購入する必要があります。

Windows Server® 2003 R2へのダウングレードサービスについて

・本サービスは、Windows Server® 2008 R2やWindows Server® 2008に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2003 R2をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。

※Windows Server® 2003 R2へのダウングレードサービス付き製品

- (1)本製品には、Windows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008 (32-bit、64-bit)のOS媒体に加え、Windows Server® 2003 R2 (32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2003 R2 (32-bit)のインストール作業を代行します。
- (2)製品貼り付けのCOAシール(Product Keyが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008用となります。Windows Server® 2003 R2には使えません。CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2003 R2 (32-bit、64-bit)でも使用することができます。
- (3)本製品添付のOS媒体を使用し、ServerView Installation Manager/ServerStart(セットアップ支援ツール)にてインストールする場合、Product Keyの入力は不要です。入力領域が2回表示されますが、2回とも何も入力せずに次へと進んでください。
また、本製品添付のOS媒体を使用し、再インストールする場合、Product Keyは要求されません。
- (4)本製品にはWindows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2003 R2から切り替えての使用が可能です。
ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2またはWindows Server® 2008の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Windows Server® 2008へのダウングレードサービスについて

・本サービスは、Windows Server® 2008 R2に付与されているダウングレードの権利に基づき、お客様がWindows Server® 2008をご利用になる際、OS媒体の用意やインストールなどの環境構築作業を、お客様からのご要望を受けて富士通が代行するサービスです。

※Windows Server® 2008へのダウングレードサービス付き製品

- (1) 本製品には、Windows Server® 2008 R2のOS媒体に加え、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)のOS媒体も同梱されます。
さらに、モデルやタイプによっては、Windows Server 2008 (32-bit)のインストール作業を代行します。
- (2) 製品貼り付けのCOAシール(Product Keyが記載されているシール)は、Windows Server® 2008 R2用となります。Windows Server® 2008には使えません。
CAL(クライアントアクセスライセンス)等は、Windows Server® 2008 (32-bit、64-bit)でも使用することができます。
- (3) 本製品添付のOS媒体を使用し、ServerView Installation Manager/ServerStart(セットアップ支援ツール)にてインストールする場合、Product Keyの入力は不要です。入力領域が2回表示されますが、2回とも何も入力せずに次へと進んでください。
また、本製品添付のOS媒体を使用し、再インストールする場合、Product Keyは要求されません。
- (4) 本製品にはWindows Server® 2008 R2のOS媒体が同梱されるため、Windows Server® 2008から切り替えての使用が可能です。
ただし、各製品のサポートOS情報にてWindows Server® 2008 R2の動作状況をご確認の上、ご適用ください。

Linux関連事項

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプについて

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、Linux OSをお客様に代わってインストールするサービス [インストール代行サービス] をPRIMERGYにバンドルして出荷いたします。

Linuxサポートバンドルタイプについて

Linuxサポートバンドルタイプでは、Linux OSをPRIMERGYにバンドルし、さらに1年間のソフトサポート (月曜日～金曜日 8時30分～19時(祝日および12月30日～1月3日を除く))が付いています。
ハード含めたサポートや2年目以降のサポートをご要望の際は、別途SupportDesk契約(パック含み)をお願いいたします。

Linux OSの利用権について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、以下の範囲内でRed Hat Enterprise Linux のバージョンやアーキテクチャ [x86/EM64T(Intel64)]を変更することができます。
対象機種のサポートOSの範囲内であれば、Linuxインストール代行サービスバンドルタイプに標準添付しているRed Hat Networkのサブスクリプションを利用して、インストールに必要なソフトウェアをダウンロードして利用することができます。
この場合再インストールが必要とはなりますが、変更後のOSにおいても標準添付のLinuxサポートや、SupportDeskパック (有償) のご利用が可能です。

Red Hat Enterprise Linux ESグループ

Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ブロックデバイスの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ブロックデバイスの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ブロックデバイスの使用可能最大サイズ
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	192GB	8TB未満 ※1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	256GB	8TB未満 ※1

※1 システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>)を参照下さい。

また、サポートを必要とされるお客様につきましては、サービス一覧の「保守サービスSupportDesk (Linux/OSS)」を参照ください。

サポート対象ディストリビューション(※)

- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

※サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

Linuxのサポート版数について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプのインストール版数、および弊社PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。

各OSの仮想化機能について

当社サポート可能なゲストOSと各OSの組合せは下表の通りです。※各サーバにて使用可能なOSはサーバ本体のサポートOSに準じます

管理OS ゲスト OS		Windows Server® 2008 Standard (64-bit)/Enterprise (64-bit)/ Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)/Enterprise (64-bit)/ Datacenter (64-bit)	RedHat Enterprise Linux 5 *5 *12					VMware *8	
		Hyper-V*10	Xen					VMware® Infrastructure 3	VMware vSphere™ 4
			5.0	5.1	5.2	5.3	5.4		
Windows	Windows Server® 2008 R2 Standard (64-bit)	SPなし *1	×					○	○
	Windows Server® 2008 R2 Enterprise (64-bit)	SPなし *1	×					○	○
	Windows Server® 2008 R2 Datacenter (64-bit)	SPなし *1*2	×					○	○
	Windows Server® 2008 R2 Foundation (64-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2008 Standard (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2 *1	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit/64-bit)	SPなし/SP2 *1	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	SPなし/SP2 *1*2	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2008 Foundation (64-bit)	×	×					×	×
	Windows® Web Server 2008 R2 (64-bit)	×	×					×	×
	Windows® Web Server 2008 (32-bit/64-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2008 HPC Edition (32-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2 *3	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2 *3	×					SPなし/SP2	SPなし/SP2
	Windows Server® 2003 R2 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	SP2 *2*3	×					×	×
	Windows Server® 2003 Standard Edition/ Standard x64 Edition	SP2 *3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Server® 2003 Enterprise Edition/ Enterprise x64 Edition	SP2 *3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Server® 2003 Datacenter Edition/ Datacenter x64 Edition	SP2 *2*3	×					×	×
	Windows Server® 2003 Web Edition (32-bit)	×	×					×	×
	Windows Server® 2000 Server/ Advanced Server	SP4 *4	×					SP3/SP4 *9	SP3/SP4 *9
	Windows Server® NT 4.0 Server	×	×					SP6a	SP6a
	Windows® 7 Home Premium	×	×					○	○
	Windows® 7 Professional	SPなし *1	×					○	○
	Windows® 7 Enterprise	SPなし *1	×					○	○
	Windows® 7 Ultimate	SPなし *1	×					○	○
	Windows Vista® Home Basic (32/64bit)	×	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Vista® Home Premium (32/64bit)	×	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Vista® Business (32/64bit)	SP1*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Vista® Enterprise (32/64bit)	SP1*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows Vista® Ultimate (32/64bit)	SP1*3	×					SPなし/SP1/SP2	SPなし/SP1/SP2
	Windows® XP Professional x64 Edition	SP2*3*11	×					SP2	SP2
	Windows® XP Professional	SP2*4*11/SP3*3*11	×					SP1/SP2/SP3	SP1/SP2/SP3
Linux	RedHat Enterprise Linux 5 (for x86/ for Intel64)	×	5.0	～5.1	～5.2	～5.3	～5.4	○	○
	RedHat Enterprise Linux ES (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6～				4.7～	4.3～
	RedHat Enterprise Linux AS (v.4 for x86/ v.4 for EM64T)	×	4.5	4.6～				4.7～	4.3～
	RedHat Enterprise Linux ES (v.3 for x86)	×	×					○	×

※○:サポート対象(記載のSP/版数内でのサポートとなります)、×:サポート対象外を示す。

*1) 1,2,4CPUで動作可能となります。

*2) RX100 S6/TX100 S1/TX120 S2/TX150 S7においてはサポート対象外

*3) 1,2CPUで動作可能となります。

*4) 1CPUで動作可能となります。

*5) Xeon X5570/E5540/L5530/E5520/L5520/L5506/E5504/E5502使用時は管理OS版数:5.3以降、ゲストOS版数:5.3以降においてのみサポート可能です。

*6) SP2の対応状況については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/windows/os/wins2008/hv/>)を参照下さい。

*7) SP2の対応状況については、弊社HP(<http://software.fujitsu.com/jp/guide/windows/win32/virtualsystem/0r8b0100/>)を参照下さい。

*8) VMwareでサポートしているゲストOSと対応製品条件についての最新情報は、VMwareの製品情報を確認してください。

弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/>)

*9) Windows Server® 2000 Advanced Serverを除く。

*10) Microsoft社のHyper-VでサポートしているゲストOSについての最新情報は、Microsoft社の情報を確認してください。

Microsoft社HP(<http://www.microsoft.com/japan/windowsserver2008/r2/technologies/hyperv-guest-os.msp>)

*11) BX620 S4で Xeon 5110/5130/5160/LV5148/E5310/L5320/X5355使用時はサポート対象外。

*12) 管理OS版数に5.4以降を使用する場合は、Intel64を使用下さい。